

## カマイルカの新生仔における自力摂餌の取り組み例

○八木歩美,木下克利,塚田仁次,野間重和  
マリンワールド海の中道

マリンワールド海の中道（以下当館）では,2024年5月3日に3例目となるカマイルカ *Lagenorhynchus obliquidens*（国内血統登録番号 307/愛称サンゴ/推定 25 歳）が第 2 仔（以下当該個体）を出産した.出産直後から母獣は仔獣に寄り添って遊泳し,6 時間後には初授乳も確認できた.他園館では生後 88 日齢までに自力摂餌が始まったと報告がある.当館では 100 日齢までに自力摂餌するように目標設定して訓練を行い,プロポーション測定も実施したので報告する.当該個体は母獣の給餌時に近くを周遊する行動が頻繁に見られたため,仔獣に対し投餌を行った.魚には全く興味を示さなかったため,82 日齢よりダイバーによる保定下で強制給餌も実施した.強制給餌には全長 15cm 程のシシャモと,全長 12cm 程のイカナゴを使用した.82 日齢から 120 日齢までは 1 回/週の頻度で行った.101 日齢に投餌した魚に対して口を開ける行動,104 日齢には魚を咥える行動が確認できたが,自力摂餌には至らなかった.124 日齢からは 2 回/週に頻度を上げたところ,訓練開始 46 日目の 128 日齢で初めて自力摂餌を確認できた.プロポーションは,自力摂餌訓練前の 68 日齢では体長 132.0cm,体重 31.4kg,腹囲 79.2cm であったが,215 日齢では体長 157.5cm,体重 50.0kg,腹囲 91.0cm に成長した.2024 年 12 月 23 日現在,授乳もしているが,サバ,シシャモを合計 3.3kg/日,コンスタントに摂餌し,順調に成長している.強制給餌開始から自力摂餌までの期間が長かったので,今後カマイルカの出産時は訓練方法や頻度を検討していきたい.